

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	管財課	室・部・局	財務部	予算事業コード	105100
-----	-----	-------	-----	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	集会場整備事業補助金	補助金の分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)				
②支出の根拠	関市地区集会施設設置等助成規則		☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)				
③支出先	地区集会施設の設置または改修を行う団体		☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)				
			☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)				
			☐ (5) 個人に対する補助金・負担金				
			☐ (6) その他				
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	集会施設の設置または改修を行う地区管理団体				に対して	
	手 段	建築または改修事業費に対して補助				を行うことで	
	受益者	当該施設利用地区住民				が(を)	
	意 図	地域活動の充実を図る				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日					補助開始年度	昭和 47 年度
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課		☐ 主に支出先団体		☐ その他 ()		
⑧構成員の負担	☐ 負担なし		☐ 負担あり		負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	☐ 補助率を定めている→補助率	1/2(限度有)
	7,658	6,698	3,195	10,100	☐ 単価を定めている→算式	
					☐ 定額補助	☐ その他 ()
②過去における 見直し状況						
③支出先の決算 の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0 千円
	R5歳入に占める補助金の割合		%	☐ 決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目	担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している
	支出額・補助率は適正か	適正
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成している
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している
	補助を休止・廃止した場合の影響は	地域活動の減退

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	改修内容・件数の予測が難しく、適正な予算確保が困難		

令和5年度補助金調書

No. ※

担当課	管財課	室・部・局	財務部	予算事業コード	105200
-----	-----	-------	-----	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	公民センター改修事業補助金				補助金の分類	☐ (1) 一般補助金(団体等への補助金など)	
②支出の根拠	関市地区公民センターの維持管理及び修繕等に係る費用負担の基準					☐ (2) 事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
③支出先	改修等を行う公民センター					☒ (3) 一般負担金(団体等への負担金など)	
						☒ (4) 事業負担金(団体等事業に対する負担金など)	
						☐ (5) 個人に対する補助金・負担金	
						☐ (6) その他	
④国・県の負担	☐ なし	☐ 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		☐ 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	改修等を行う公民センター				に対して	
	手 段	補助				を行うことで	
	受益者	当該施設利用地区住民				が(を)	
	意 図	充実した地域活動を図ることができる				という状態にする	
⑥期間	R 5 年 4 月 1 日 ~ R 6 年 3 月 31 日				補助開始年度	平成 18 年度	
⑦事務局体制	☐ 主に市の担当課		☐ 主に支出先団体	☐ その他 ()			
⑧構成員の負担	☐ 負担なし		☐ 負担あり	負担額	あたり	円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R3決算	R4決算	R5決算	R6予算	☐ 補助率を定めている→補助率	1/2(限度有)	
	2,950	1,264	2,170	2,000	☐ 単価を定めている→算式		
					☐ 定額補助	☐ その他 ()	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	R5歳入決算額	千円	R5歳出決算額	千円	翌年度繰越額	0 千円	
	R5歳入に占める補助金の割合		%	☐ 決算額を把握していない			

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	地域活動の減退	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	☐ 1 現状のまま継続	☐ 2 補助内容を見直す	☐ 3 縮小・減額を検討
	☐ 4 統合を検討	☐ 5 終期を設定	☐ 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	改修内容・件数の予測が難しく、適正な予算確保が困難		